

令和 6 年度

第 2 次山形村教育振興基本計画

点検・評価報告書

令和 7 年 6 月

山形村教育委員会

目 次

■ はじめに

1 趣旨	・ ・ ・ ・ ・ 1
2 点検評価の対象	・ ・ ・ ・ ・ 1
3 施策体系・事業計画一覧	・ ・ ・ ・ ・ 2
4 点検評価の方法	・ ・ ・ ・ ・ 3
5 点検評価シートの構成	・ ・ ・ ・ ・ 3
6 点検評価シート	・ ・ ・ ・ ・ 4

■ 点検評価の結果

1 教育委員会の評価の求めと今後の取組の方向性	・ ・ ・ ・ ・ 5
(1) 「幼児教育と子育て支援」	・ ・ ・ ・ ・ 5
(2) 「学校教育」	・ ・ ・ ・ ・ 6
(3) 「青少年健全育成」・「家庭教育力向上」・「スポーツ」	・ ・ ・ 6
(4) 「文化芸術」・「文化財」	・ ・ ・ 6
(5) 「生涯学習」・「共生の村づくりと人権尊重」	・ ・ ・ ・ ・ 7
2 教育振興基本計画評価委員の評価結果	・ ・ ・ ・ ・ 7
(1) 評価の趣旨	・ ・ ・ ・ ・ 7
(2) 分野別進捗状況の外観	・ ・ ・ ・ ・ 8
(3) 点検評価の総括	・ ・ ・ ・ ・ 8
(4) 項目別点検評価の内容（点検評価シート）	・ ・ ・ ・ ・ 9

■ 参考資料

1 山形村教育振興基本計画評価委員会設置要綱	・ ・ ・ ・ 34
2 山形村教育振興基本計画評価委員会委員名簿	・ ・ ・ ・ 35

■ はじめに

1 趣旨

山形村教育委員会では、第6次山形村総合計画に対応する個別計画として第2次山形村教育振興基本計画を令和6年3月に策定しました。この教育振興基本計画では、施策の目標を定め、目標を達成するための関連事業を展開することが定められています。また、計画の実効性を確保し、効果的な教育行政を進めるため、毎年度計画の進捗状況を評価することとしています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項では、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表することが定められており、山形村教育振興基本計画の評価は、この法律の規定に基づくものです。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関連する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、第2次山形村教育振興基本計画の施策体系・事業計画一覧に記載された事業としました。

3 施策体系・事業計画一覧

山形村教育振興基本計画

2019年度～2023年度

施策体系・事業計画一覧

基本理念

ふるさとを愛し、社会の変化に主体的に対応でき、お互いの多様性を尊重し合う子どもたちの育成と、すべての村民が生きがいと感動に満ちた人生を送れる文化の薫り高い村づくり

次代を担う人づくり・生涯学び合い続ける村づくり

各施策の課題・目標		事業計画の視点 ○：村民とともに推進したい事業 ●：村の主導により推進する取組	事業計画
生きる力を育てる幼児・学校教育	1 幼児教育と子育て支援 ○安全に安心して妊娠・出産ができる環境の充実 ○子育て家庭支援の充実 ○豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり ○子育てと教育に関する施策の一体的な推進による心身ともにたくましい人づくり ○子どもと子育て家庭にやさしい村づくり	○地域に子どもの居場所や活動ができる機会をつくりましょう ●少子化や核家族化による子育ての悩みを、地域全体で支援する ●幼児教育の充実を図り、地域の関わりや交流により、のびのび育つ環境づくりを推進する	放課後児童健全育成事業 児童館事業 子育て関連事業 保育所(園)・保小連携事業 巡回相談 教育支援委員会事業
	2 学校教育 ○学校施設・設備の整備 ○教職員の資質の向上と働き方改革の推進 ○保小中の連携による確かな学力の育成・教育内容の充実 ○心の問題への対応 ○家庭との連携 ○地域とともにある学校づくり ○安全対策の推進	●山形小学校教育の充実を図る ○学校支援をはじめとして、地域・学校協働活動を推進しましょう	山形小学校グランドデザインに基づく教育実践 コミュニティ・スクール事業 (地域学校協働活動) 学校支援地域本部活動 保育所(園)・保小連携事業
子ども・家庭支援の充実	3 青少年健全育成・家庭教育 ○健全育成活動推進体制の充実 ○健全な社会環境づくり ○家庭の教育力の向上 ○青少年の体験・交流活動等への参画促進 ○青少年団体の育成・支援	○地域に子どもの居場所や活動ができる機会をつくりましょう ○青少年が地域に貢献し、ともに活動できる事業を実践しましょう ●各種団体間の連携のもと地域全体で青少年を取り巻く環境について考える	子ども食堂 通学学舎(公民館) 社会福祉協議会子育て支援事業 地区 PTA 活動 児童館事業 子ども会育成会事業
生涯学習の充実	4 生涯学習 ○生涯学習を支える施設の整備充実 ○指導者の育成・確保と活用 ○特色ある学級・講座等の開催 ○関係団体の育成 ○図書館の充実と読書活動の促進	○学びの場づくりを進めるために地区公民館などを生涯学習の場所として活用しましょう ○情報化社会に対応した講座の開催など生涯学習の推進を図りましょう ○図書館を生涯学習の拠点として有効活用しましょう ●少子高齢化など地域課題を明確にし、その解決と地域活性化に向けて取り組む	公民館・分館事業 情報化社会に対応した事業 図書館活性化事業 高齢化社会に対応した公民館講座の開催 趣味の講座の開催
	5 スポーツ ○スポーツ施設の整備充実 ○指導者の育成 ○スポーツ活動の普及促進	○健康や体力づくりのためにすすんでスポーツ活動に参加しましょう ●スポーツ指導者の育成を図る	スポーツ推進事業計画に基づく取組み
	6 文化芸術・文化財 ○文化団体・指導者の育成 ○文化芸術の鑑賞機会と発表機会の充実 ○文化財の保存・活用	○伝統や文化の継承に取り組みましょう ○芸術鑑賞等に取り組みましょう ●ふるさと伝承館の保存と活用を推進する	各地区における伝統や文化の継承 ふるさと伝承館の保存・活用の推進
	7 共生の村づくりと人権尊重 ○人権教育・啓発推進体制の充実 ○人権教育・啓発や主権者教育の推進	○ふるさとの歴史文化などへの学習を深め、ふるさとの活性化に向けた課題を抽出し、その解決に向け取り組みましょう ●人権教育・啓発活動に継続的に取り組む	学社連携によるふるさと学習と地域課題研究の取り組み 人権教育推進協議会事業(研修会、授業参観) 分館・企業・村職員等の人権講座

4 点検評価の方法

点検評価シートに基づき、第2次教育振興基本計画の施策体系・事業計画一覧に示された事業において、担当者による第1次評価（自己評価）を行い、その内容を教育振興基本計画評価委員会に提出します。

評価委員会では、提出された担当者による自己評価結果を踏まえ外部評価を実施し、その結果を教育委員会に報告します。

教育委員会では、委員会による外部評価者の評価結果を受け、現状と課題等について把握するとともに次年度の教育行政の改善策に反映していきます。

5 評価シートの構成

点検評価シートに基づき、第2次山形村教育振興基本計画の施策の体系・事業計画一覧に示された内容に対応する様式としました。施策体系と施策を進めるための目標を示し、目標を達成するための事業のねらいと内容を明らかにし、事業の成果、課題、改善事項等について担当者が評価を行う形にしました。この評価結果につきましては、「A、B、C」の三段階により自己評価をする形式としました。

外部評価を行う教育振興基本計画評価委員会は、担当者の自己評価の内容についてエビデンスに基づき事業実施の評価を行い、評価結果を「A、B、C」の三段階により示すこととしました。

(評価シート)

点検評価シート【令和6年度】

①子育て支援課

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：切れ目ない子育て支援の充実	
計画：子育て関連事業(子育て支援の充実)	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容]	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) [成果] [課題] [改善事項]	左記に対する評価委員の意見等
担当者の評価 A B C	評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

■ 点検評価の結果

1 教育委員会の評価のまとめと今後の取組の方向性

外部評価者としての教育振興基本計画評価委員会の評価の総括として、次のような意見が教育委員会に示されました。

＊教育振興基本計画評価委員会の意見(総括)

第2次山形村教育振興基本計画は、各分野において概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果を上げています。しかし、社会環境の変化や村民ニーズの多様化に対応するため、分野間の連携強化や事業内容の見直しなど、更なる改善の余地があります。

評価委員会の評価結果は、第2次山形村教育振興基本計画に記載された事業について、概ね計画どおりに進捗しているという評価でした。ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。)な状態を創造していくため、教育振興基本計画の目標の実現に向け、さらに効果的な事業の推進に努めて参ります。なお、分野別に指摘のあった事項等につきましては、次のように取組を進めます。

(1)「幼児教育と子育て支援」

・指摘事項

保小連携における情報共有や、児童館・放課後児童健全育成事業における連携の更なる強化が求められます。

・取組内容

ア 保小連携については、令和6年度に引き続き**スタートカリキュラム策定に向け関係者会議を開催**し、育てたい子どもの姿の共有と、発達段階における保育と教育の在り方について検討を進めます。

イ 児童館・放課後児童健全育成事業における連携の更なる強化については、**関係機関・団体が一堂に会し、課題等について協議する機会を積極的につくり**、取組の協働と更なる連携を進めます。

(2)「学校教育」

・指摘事項

教職員のカリキュラム・マネジメント能力を活かした効率的かつ効果的なカリキュラム編成が重要です。ボランティア活動参加者の高齢化・減少への対応も課題となっています。

・取組内容

ア カリキュラム・マネジメント能力を活かした効率的かつ効果的なカリキュラム編成については、各教科の見方・考え方を踏まえ、**総合的で探究的な学びにつながるカリキュラム編成が行えるよう、職員研修の機会を確保**します。また、**教育指導員を設置し、個別最適な学びと協働的な学び、探究的な学びの具体について実践活動を推進**します。

イ ボランティア活動参加者の高齢化・減少への対応については、令和7年度より教育委員会に置く社会教育専門員を地域学校協働活動推進員に位置付けます。地域学

校協働活動推進員は、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、目指す子どもの姿の具現化に向け、**主体的に活動する地域住民等の地域学校協働活動を推進**します。

(3)「青少年健全育成」・「家庭教育力向上」「スポーツ」

・指摘事項

縦割り行政的な運用が見られるため、社会情勢や村民の実態を踏まえた更なる充実が期待されます。

・取組内容

関係機関・団体が、**課題等について協議する機会を積極的につくり**、取組の協働と更なる連携を進めます。

(4)「文化芸術」・「文化財」

・指摘事項

地域振興における文化施設の役割を踏まえ、村民の理解と協力を得ながら、文化薫る村づくりを推進する必要があります。

・取組内容

複合施設(防災交流施設)については、令和7年度中に基本設計を行います。この基本設計の段階において、村民の皆様の考えを聴く**ワークショップを開催し、出された意見等について基本設計に反映していく**ことにしています。複合施設(防災交流施設)は、生涯学習の拠点となる文化施設であり、様々な学びや交流活動等の展開が期待されています。

(5)「生涯学習」、「共生の村づくりと人権尊重」

・指摘事項

社会環境の変化に伴い、公民館・図書館のあり方や生涯学習のニーズも変化しているため、村の実態に即した事業やサービスの提供が求められます。

・取組内容

公民館運営審議会や図書館協議会の意見を事業に反映するとともに、**村民ニーズを把握する機会を積極的につくり**ます。

また、ウェルビーイングな状態を創造するため、**住民自治力を高める組織的な学びの仕組みづくりを進めます。**

2 教育振興基本計画評価委員会の評価結果

(1)評価の趣旨

山形村教育振興基本計画は、子どもの成長を支え、地域を活性化させるため、村の教育目標と方向性を示すものです。学校教育、家庭教育、地域活動など、村全体の教育力を高め、誰もが生涯にわたって学び続けられる環境を整備し、持続可能な地域づくりを目指しています。

令和6年度からは、第6次山形村総合計画に基づき、「ふるさとを愛し、お互いの違いを認め合い、変化していく社会に主体的に対応できる子どもの育成と、全ての村民が

生きがいと感動に満ちた人生を送れる文化の薫り高い村づくり」を基本理念として、以下の7分野で第2次山形村教育振興基本計画が実施されています。

- ・ 幼児教育と子育て支援
- ・ 学校教育
- ・ 青少年健全育成・家庭教育力向上
- ・ スポーツ
- ・ 文化芸術・文化財
- ・ 生涯学習
- ・ 共生の村づくりと人権尊重

計画の最終年度における目標達成に向け、各事業の進捗状況を確認し、事業宇を推進するため、山形村教育振興基本計画評価委員会が設置されました。本委員会では、各事業担当者からの聞き取り調査に基づき、25項目について成果を評価し、次年度に向けた課題を提言します。（詳細については、別添の点検評価シート参照）

(2) 分野別進捗状況の概観

ア「幼児教育と子育て支援」

概ね計画どおりに進捗していますが、保小連携における情報共有や、児童館・放課後児童健全育成事業における進捗の更なる強化が求められます。

イ「学校教育」

概ね計画どおりに進捗していますが、「開かれた教育課程」「個別・最適化された学び」「協働的な学び」の視点から、教職員のカリキュラム・マネジメント能力を活かした効率的かつ効果的なカリキュラム編成が重要です。ボランティア活動参加者の高齢化・減少への対応も課題となっています。

ウ「青少年健全育成」・「家庭教育力向上」、「スポーツ」

概ね計画どおりに進捗していますが、縦割り行政的な運用が見られるため社会情勢や村民の実態を踏まえた更なる充実が期待されます。

エ「文化芸術」・「文化財」

大規模な財源を要する事業が含まれるため、進捗に時間を要していますが、概ね順調です。地域振興における文化施設の役割を踏まえ、村民の理解と協力を得ながら、文化薫る村づくりを推進する必要があります。

オ「生涯学習」、「共生の村づくりと人権尊重」

概ね計画どおりに進捗していますが、社会環境の変化に伴い、公民館・図書館のあり方や生涯学習のニーズも変化しているため、村の実態に即した事業やサービスの提供が求められます。

(3) 点検評価の総括

第2次山形村教育振興基本計画は、各分野において概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果を上げています。しかし、社会環境の変化や村民ニーズの多様化に対応するため、分野間の連携強化や事業内容の見直しなど、更なる改善の余地があります。

(4) 項目別点検評価の内容（点検評価シート）

点検評価シート【令和6年度】

①

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：切れ目ない子育て支援の充実	
計画：子育て関連事業(子育て支援の充実)	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 〔事業のねらいと実施した内容〕 妊娠期から子育て期にわたり安心して子育てできるように、支援が必要な子どもや家庭の情報を共有し、保健福祉課と連携して支援を行った。また乳幼児健診等の実施や子育て支援センター「すくすく」の運営を通して、ファミリーサポート事業や一時保育など必要な子育て関連事業につなげ、切れ目ない支援を行った。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 〔成果〕 令和5年度において妊婦相談は対象者47人の81.0%、新生児家庭訪問は対象者45人の97.8%に実施できている。また支援が途切れないように事業への参加が難しい場合は訪問で対応するなど、必要に応じて住民が受け入れやすい方法で実施した。 〔課題〕 ファミリーサポートセンター事業は協力会員が減少しており、今後事業を継続するために養成や研修をおこなうなど、会員確保が必要である。病後児保育事業は利用者が年々増加しているが、体制は確保できている。 〔改善事項〕 令和7年4月よりこども家庭センターが設置されるため、子育て支援の更なる強化を図る。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 おおむね計画通り進捗していると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：子どもと子育て家庭にやさしい村づくり	
計画：保育園運営事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] 子どもが自発的、意欲的に関わられるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関りを大切にしながら保育を進めた。職員間で情報共有をすることで、子どもが遊びこむための環境構成を全体で考える機会を増やし、保育方針の具現を図った。 保護者の利便性、保育士の負担軽減のため ICT(コドモン)を導入し、登降園管理、連絡帳機能等を活用した。3歳未満児の定員拡充については、やまのこ保育園との調整を行い、待機児童の発生はない。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) [成果] 子どもが遊びを選びながら自分たちで遊びを継続していく姿があった。苦手なことも友だちが遊んでいる姿を見て、一緒にやってみたりすることで、挑戦しようとする意欲につながった。 [課題] 遊びを選ぶための環境構成に必要な補材の購入時期を考え、早い段階で充実した環境を作ること。 [改善事項] 保護者の利便性向上のため ICT 化(コドモン)の研修及び活用内容の見直し。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 スピード感は緩やかであるが、概ね計画通り進捗していると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

③

A : 良好 B : おおむね良好 C : 改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

④

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり	
計画：放課後児童健全育成事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] 集団生活を通して児童の健全育成を図ることを目的に、小学1年生から6年生までを対象に、放課後や学校休業日に適切な遊びや生活の場を提供した。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) [成果] 児童の安全確保に努め、子育て支援施設としての責務を果たすとともに、異学年交流を促進することで、児童の社会性向上に寄与した。 [課題] 現在、通年及び長期利用児童は、全校児童の4割近くとなり、今後も利用児童の増加、人材不足による職員確保の困難、施設の老朽化(床材や大型備品、施設設備の経年劣化等)による児童の負傷、利用しにくさや修繕が増加していることが課題となっている。 [改善事項] 利用児童の増加に対する対策も含め、施設の維持管理について大規模な改修等を検討したい。 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 全体として、事業は機能していると評価できる。 評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑤

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり	
計画：児童館事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] 18歳までの児童及び就学前の乳幼児と保護者などに対して、子どもの心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的に、遊びや教室、相談など必要な場を提供した。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 レインボークラブや運動遊び教室など、子どもの心身の健康増進や情操を豊かにする遊びの場を提供できた。 【課題】 放課後児童クラブと同じ施設を利用していることから自由遊びでの交流もおこないが、放課後児童クラブの利用者が多いため思うように交流ができない。また、多少は乳幼児と保護者、中・高生などの利用もあるが、放課後児童クラブ以外の時間などが多くなってしまう。そのほか、事業内容にあまり変化が無いので、利用者のニーズを把握しながら新事業の企画、コロナ禍前に乳幼児の保護者サークル活動の支援等もおこない、併せて環境教育に関する様々なコンテンツも活用し、次世代へのGX普及啓発にも取り組みたい。 【改善事項】 R7年度に業務委託することで、遊びの場として新しい講師及び教室、GXへの取組推進等の企画、サークル活動支援や相談など、乳幼児と保護者、中・高生に必要な場の提供が期待できる。 担当者の評価 A <u>B</u> C	左記に対する評価委員の意見等 概ね計画通りに進捗していると判断できるが、課題で事業内容に変化があまり無いとしているのは、内容を「遊び」という範疇でとらえていることから、視野が狭くなっていると考えられるので、GXの観点から視野を広めたい。 評価委員の評価 A <u>B</u> C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑥

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり	
計画：第3の居場所事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] ・安心して過ごせる環境で、人や社会と関わる力、生活・学習習慣などを育むことを目的に、染め物体験や調理実習などの体験活動を行った。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 通所し始めたころは、知らない大人と関われなかった子どもたちも安心して生活できる環境で、信頼できる大人と関わることで変化が見られている。 【課題】 スタッフの確保は課題である。併せて、B&G 財団からの年間 9,600 千円助成が R7 で終了する。次なる財源の検討を早期に始める必要がある。子どもの居場所は大きな課題であり、今後も事業を継続する必要がある。 【改善事項】 スタッフミーティングの充実で、多様な環境の子どもに合わせた支援の検討。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 本年度の事業については、概ね順調に実施できたと判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

⑦

A : 良好 B : おおむね良好 C : 改善の余地がある

A：良好

B : おおむね良好

C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑧

体系：幼児教育と子育て支援	
目標：悩みや課題を抱えた子ども・家庭への一体的支援	
計画：教育支援委員会事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] 障がいや発達に課題のある幼児、児童、生徒の就学について審議するための委員会で年 5 回開催する。保育園期の巡回相談から継続的に子どもの成長を見ている。	左記に対する評価委員の意見等
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) [成果] 保育園、小学校など関係機関と連携し、幼児・児童にあった個別最適な学びの場を審議して保護者へ通知。(保育園 3 件、小学校 19 件) [課題] 専門性の高い知識が必要で、その判断にも学校、保健師、行政、学識者など立場により判断が分かれるケースも多々あると感じている。 [改善事項] 関係機関との更なる連携が必要。 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 十分活動が展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑨

体系：共生の村づくりと人権尊重	
目標：人権教育・啓発推進体制の充実	
計画：人権教育推進協議会事業(研修会・授業参観)	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] 村民一人一人の個性や多様性が尊重されるため、全ての人がともに生きることができる人権尊重社会山形村を目指すために、講演会で学習する機会を設けた。6月27日に研修会、11月6日小学校人権講演会参加。	左記に対する評価委員の意見等 概ね十分な内容と判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) [成果] 年2回行った講演会後は「勉強になった」と声をいただき、人権について考えてもらえる時間が作れた。小学校では11月を人権教育強化月間と定めて活動した。 [課題] 村民全体に人権について考えてもらう機会がない。 [改善事項] 委員の方だけでなく村民全体への講演会参集や活発な地域活動を通して多世代交流の活性化を検討。	左記に対する評価委員の意見等 概ね事業が計画通り推進されていると判断できる。
担当者の評価 A B C	評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑩

体系：共生の村づくりと人権尊重	
目標：人権教育・啓発推進体制の充実	
計画：分館・企業・村職員等人権講座・各種啓発事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) [事業のねらいと実施した内容] ・分館において、人権学習を通じた相互尊重の促進と、職員の啓発学習を実施。商工会議所での総会にて会社向け企業人権学習会を実施。	左記に対する評価委員の意見等 企業向けの内容は実施されたのか否かわかりにくい。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 定期的に入権学習を行うことで、自分の行動や言動を顧みる機会を提供することができた。 【課題】 学習会への参加者数はいずれも 30 名前後と、依然として人権問題を他人事として切実感が低い傾向にある。 【改善事項】 イベントと一緒に人権学習を行うなど誰でも参加したくなるような工夫が必要。 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 課題や改善事項から改善の余地はあると判断する。 評価委員の評価 A B ☒ C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑪

体系：学校教育	
目標：保小中の連携による確かな学力の育成・教育内容の充実	
計画：保小連携事業(学校)	
事業名(事業内容) (小学校担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 切れ目のない円滑な接続のあり方を検討するため、職員同士の保育・授業参観、接続カリキュラム検討委員会(3回)や懇談会の開催、研修会の実施、園児と5年生との交流、信州幼児教育アドバイザーの派遣を行った。	左記に対する評価委員の意見等 進捗状況が明確に示されており、事業は良好に進められていると判断できる。
事業の成果・課題等 (小学校担当者記入) 【成果】 保小相互に参観を行ったことで、互いの実態を知ることができた。研修会では先進的事例を学ぶとともに、アドバイザーから助言を得ることができ、今後の連携の参考になった。 【課題】 参観の観点の明確化。年長担任と小1担任との懇談会の複数開催。交流学年の拡大や内容の見直し。 【改善事項】 互いの参観をもとに、接続の具体的内容を検討する懇談会の充実。園児と小学1年生との交流機会の確保。1～3年生との休み時間の自然交流。	左記に対する評価委員の意見等 概ね計画通り進捗していると判断できる。
担当者の評価 A ☒ B C	評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑫

体系：学校教育	
目標：教育内容の充実	
計画：山形小学校グランドデザインに基づく教育実践	
事業名(事業内容) (学校長記入) 事業のねらいと実施した内容 教育重点目標を「問いからまなびを深めよう」とし、社会の変化に主体的に対応できる資質・能力を育むことを目標に、「ひろげる力」「見ぬく力」「しなやかな心と体」の育成を視点に、それを生かせる探究的な学びのサイクルを取り入れた学習活動を行った。	左記に対する評価委員の意見等 内容としては、おおむね実行されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (学校長記入) 【成果】 探究的な学びのサイクル「発信」の場、全校「まなびの発表会」を位置付けた。教職員の取組への自己評価は95%に達した。 【課題】 児童の「問いをもって学習に取り組む」意識は75%であり、学びの振り返りと自分のまなびの目標設定が課題である。 【改善事項】 学びの発表会の学年個別化により児童のまなびの主体性を引き出す。ICT活用によるポートフォリオの充実。 学校長の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 おおむね順調に展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑬

体系：学校教育	
目標：地域と共にある学校づくり	
計画：学校支援地域本部活動	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 ・子ども達の育ちのために地域と学校が協働してできる学校支援を目的に子どもと大人による協働してできる活動を実施した。具体的には、5つ支援部(安全・安心、学習支援、行事・環境、読み聞かせ、わくわくクラブ)を定期的な活動とし、令和5・6年度には、「共育ち企画」を実施した。	左記に対する評価委員の意見等 おおむね、良いと判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 各支援部を通じて、子どもと地域の様々な大人に係る事で、子ども達の社会性を育むための活動ができた。 【課題】 高齢化、固定化しないことを目的とした、ボランティアさんの確保が課題である。 【改善事項】 現在関わっていただいている関係者の満足度を調査するとともに、地域ボランティアさんの募集方法を検討、関わる方の増加により、支援の充実を図る。 担当者の評価 A <u>B</u> C	左記に対する評価委員の意見等 おおむね、計画通り展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A <u>B</u> C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑭

体系：学校教育	
目標：地域と共にある学校づくり	
計画：学社連携によるふるさと学習	
事業名(事業内容) (学校長記入) 事業のねらいと実施した内容 地域の「ひと」から「もの・こと」につながり、自分事としてまなびに向かうことを目標に、PBL 的な「プロジェクトY」を教育課程に取り入れた。	左記に対する評価委員の意見等 概ね計画通り展開していると判断できる。
事業の成果・課題等 (学校長記入) 【成果】 ふるさと学習をあらためて探究的な学びで再編することにより、地域素材から児童が主体的に学ぶ力が高まった。 【課題】 1 年間の学習活動の立ち上げに 1 学期を費やしてしまう。「まなびのロードマップ」を早期に作ることが必要。 【改善事項】 探究のテーマを早期に決めだすことにつながるよう、学年で実施した単元の蓄積を続ける。テーマは 1 学期半ばまでに各学年学級全校で発表し、追究の見通しを共有し、参考にする。 学校長の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 概ね計画に則して展開していると判断できる。なお、課題からカリキュラムマネジメントに係る研修の必要性がうかがえる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑮

体系：学校教育	
目標：地域と共にある学校づくり	
計画：学社連携によるふるさと学習	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 ふるさと学習を通じて地元やまがたを知り、郷土への誇りや愛着を育てる事を目的に、地域の方を講師とした授業を実施した。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 各クラブ活動を通じて、身近な地域とのかかわりを体験し、地元やそこで活動する方々を知る活動や交流ができた。 【課題】 高齢化、固定化しないことを目的とした、ボランティアさんの確保が課題である。 【改善事項】 現在関わっていただいている関係者の満足度を調査するとともに、クラブ活動の内容の充実を図り、お互いに楽しめる内容にしながら、郷土への誇りや愛着の育成につなげる 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑩

体系：青少年健全育成・家庭の教育力向上	
目標：健全育成活動推進体制の充実	
計画：未来塾運営事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 5月から2月までの17回、小中学生を対象に、大学生や教員OBの地域住民の協力で学習習慣の確立や基礎学力の定着を図る。地域未来塾補助金(補助率2/3)の申請(令和6年度補助金額 266千円)	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 未来塾に自ら来て、各々課題に取り組み分らないところを聞くなどして集中して学習ができた。全17回 参加人数小学生23名、中学生17名 延べ人数小学生245名、中学生101名 参加者より：未来塾に来たことで集中して勉強に取り組めた。大学生が分かりやすく教えてくれたので、勉強がはかどった。保護者より：勉強嫌いな子どもが、勉強をする場として意識が定着し、しっかりと学習に取り組んでいると思いました。(アンケートより) 【課題】 授業1コマ程度の時間が限界で、課題に取り組む時間の調整が必要。 【改善事項】 子どもの集中力とやる気を一番に考えた運営の仕方。(小学生だと集中するのは1時間が限度。大学生による実験や工作などをカリキュラムとして取り入れたい) 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

⑰

体系：青少年健全育成・家庭の教育力向上	
目標：青少年の体験・交流活動等への参画促進	
計画：子ども会育成会事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 村在住の幼児から 18 歳までの子ども達の健全育成活動の発展を目的に、本部事業を企画・運営するとともに、地区育成会や育成団体(育成クラブ)の支援を行う。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 ジュニアリーダー(R6 年度 3 名)の育成、チャレンジ広場(R6 年度参加者数 20 名)の企画・運営を実施した。併せて、地区育成会や育成団体への支援(世帯数等に合わせた助成)を行った。 【課題】 ジュニアリーダーの応募数が少ないことから、活動全体を通して「子ども達の意見」が反映されにくい。また、人手不足による規模の縮小等企画内容にも制限ができてしまう。 【改善事項】 ジュニアリーダーの魅力を発信する機会を設けるほか、募集時期、募集範囲についても検討する。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

18

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

①9

体系：スポーツ	
目標：スポーツ活動の普及促進	
計画：多世代参画型のスポーツ活動の推進	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 公民館主催で、多世代参加型のミニ運動会を開催し、老若男女問わず多くの村民のスポーツ活動の推進とコミュニティの再構築を図った。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 村民運動会に変わる代替イベントとして1月末に開催。保育園児から高齢者まで参加できる10種目に220名を超える参加があった。事後アンケートでもおおむね好評を得た。 【課題】 以前のような動員型の運動会ではなく、参加したい人が参加できるイベントの開催。 【改善事項】 現在の1月末開催からもう少し良い時期での開催を模索する。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
担当者の評価 A ☒ B C	評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②⑩

体系：スポーツ	
目標：スポーツ活動の普及促進	
計画：スポーツ推進事業計画に基づく取り組み	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 スポーツ推進委員を中心にスポーツの普及へ取り組む講座や行事へ委員を派遣し、普及促進を図った。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 講座や本館行事ほか小学校や分館行事等に委員の派遣を行った。来年も派遣をお願いしたいと好評であった。 【課題】 スポーツ推進委員や住民向けの講座の実施等を知らない人も多いと感じる。参加者の固定化。 【改善事項】 広報等の活用による委員活動の周知。協議会や分科会での新しい知識や経験の供給、活用による普及促進。	左記に対する評価委員の意見等
担当者の評価 A B C	評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

検評価シート【令和6年度】

②1

体系：文化芸術・文化財	
目標：博物館機能の充実、文化財の保存・活用	
計画：複合施設の充実による文化財の保存・活用の推進事業 生涯学習・住民交流を支える複合施設の建設整備	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 複合施設の設置により、文化財の保存活用及び生涯学習、住民交流の推進をはかるべく、基本設計の着手に向けた諸業務を進めた。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 基本設計に着手し、建設にむけ本格的に始動した。 【課題】 はじめて話が出てから既に10年といった時間が経過しており、住民の関心度・盛り上がりには欠けており、担当者レベルで住民と接する機会等に十分に認知されていないと思われる。この施設を実際に使う世代に周知し、自分たちが望む施設を語る場が必要。 【改善事項】 広報等を通じて周知を図るとともに、住民の参画を得て事業を推進する必要がある。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②②

体系：文化芸術・文化財	
目標：文化芸術の鑑賞機会と発表機会の充実	
計画：各種文化芸術の鑑賞・発表等推進事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 各施設を利用しているサークルの発表の場を文化祭にて設け、村内のサークル活動の活性化や文化芸術の鑑賞機会を提供した。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 〔成果〕 発表の場を設けることで、村民の交流の場にもなった。 〔課題〕 サークルの高齢化により、年々サークルが減ってきている。 〔改善事項〕 若年層がサークルに加われるような機会や、サークル立ち上げをサポートできるような制度が必要。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
担当者の評価 A ☒ B C	評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②3

体系：生涯学習(社会教育)	
目標：多世代参画型社会教育の推進と特色ある公民館講座等の開催	
計画：多世代参画型社会教育推進事業、公民館・分館事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 大人も子どもも世代を超えて講座づくりを目的に、公民館講座の充実に取り組んだ。具体的には、3つの定期講座と、26の随時講座を実施。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 多世代型の講座を複数回開催でき、参加者も多く、一定の手ごたえを感じることができた。単独26講座で400人以上の参加があり、内多世代参加型は、5講座80人以上の参加があった。 【課題】 参加者は公民館利用者が多く、リピーターが多い一方で固定化の側面もあり、講座の認知度の向上が課題である。 【改善事項】 SNS、チラシ、口コミなど一定の効果がある媒体を利用し、より多くの方に知ってもらう機会を増やす。 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②4

体系：生涯学習(社会教育)	
目標：多世代参画型社会教育の推進と特色ある公民館講座等の開催	
計画：高齢化社会対応型公民館講座開設事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 シルバー世代の生きがいとしての公民館づくりを目的に、公民館講座の充実に取り組んだ。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 通年講座である、シルバー向け講座の「いきいき塾」や「おやじ塾」を開催し、様々な内容に取り組めた。・活き生き塾は 21 回開催し、累計約 240 名の参加。 ・おやじ塾は 13 回開催し、累計約 75 名の参加。 【課題】 令和6年度は、新規参加者がそれぞれ1名であったため、新規参加者を増やすことが課題である。 【改善事項】 募集時の PR を強化することにより、少しでも興味のある方の参加を促す。 担当者の評価 A ☒ B C	左記に対する評価委員の意見等 評価委員の評価 A ☒ B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

点検評価シート【令和6年度】

②5

体系：生涯学習(社会教育)	
目標：図書館の充実と読書活動の促進	
計画：図書館活性化事業	
事業名(事業内容) (教育委員会事務局担当者記入) 事業のねらいと実施した内容 文化や教養の本を借りたり、学生の勉強する場所の提供。また、地域の情報の拠点として蔵書及び事業の充実を図る。	左記に対する評価委員の意見等 概ね順調に計画が展開されていると判断できる。
事業の成果・課題等 (教育委員会事務局担当者記入) 【成果】 アウトリーチを広げるにより、入館者、貸出人数増となった。 入館者(令和5年度平均1,140人→令和6年平均1,200人) 貸出人数(令和5年度平均877人→令和6年平均970人) 【課題】 館内が狭いため、蔵書冊数の確保が難しい。 【改善事項】 複合施設の建設に伴い、図書館の施設、在り方、運営について検討。 担当者の評価 A B C	左記に対する評価委員の意見等 評価委員の評価 A B C

A：良好 B：おおむね良好 C：改善の余地がある

■ 参考資料

1 山形村教育振興基本計画評価委員会設置要綱

山形村教育振興基本計画評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項及び第2項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等のため、第2次山形村教育振興基本計画(令和6年3月策定。以下「基本計画」という。)の執行状況を評価する山形村教育振興基本計画評価委員会(以下「委員会」という。)の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、教育委員会へ結果を報告するものとする。

- (1) 基本計画に示す事業計画の評価に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、学識経験を有する者3人をもって組織する。

2 委員は、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないものとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則

(施行期日)

1 この要綱は、令和7年2月6日から施行する。

(招集の特例)

2 第6条第1項の規定にかかわらず、最初の会議は、教育長が招集する。

2 山形村教育振興基本計画評価委員会委員名簿

(敬称略、○は委員長)

信州大学教職支援センター 教授	○ 小山 茂喜
山形村学校運営協議会 会長	高山 雪
山形村学校支援地域本部企画推進委員会委員長	平林 廣